

1日目 (8/19土)

A会場 (103)		展示(104)	学生作品上映(105)
9:30	9:30 受付開始		
10:00	<p>10:00 開会のことば (JSAS会長 須川亜紀子)</p> <p>10:05-11:05 キーノートスピーチ レイナ・デニンソン (ブリストル大学教授) 「アートミュージアムにおけるアニメースタジオジブリとアニメーションとアートの間のスペース」 ※英語による発表。日本語訳の配付資料有。</p>	<p>大会テーマ運動企画展示 「ギャップとスペース」</p> <p>五島一浩「TVアニメの透視 模型(パースペクティブ) in JSAS/SAS大会」</p>	<p>学生作品上映プログラム 「ICAFセレクションプログラム」 (約90分)</p> <p>10:00- 11:30- 13:00- 14:30-</p>
11:00	<p>11:20-15:30 シンポジウム 「ギャップとスペース」</p> <p>※プレゼンテーション は日英併用で行われ、 ディスカッションには 逐次通訳がきます。</p> <p><セッション1> スティービー・スアン (JSAS) ジェイソン・コーディー・ダグラス (SAS) 宮本裕子 (JSAS)</p> <p>休憩</p> <p><セッション2> クリス・バラント (SAS) 五島一浩 (JSAS) ヤンユン・チェン (SAS)</p> <p>休憩</p>		
12:00	<p><討論> スティービー・スアン (JSAS) ジェイソン・コーディー・ダグラス (SAS) 宮本裕子 (JSAS) クリス・バラント (SAS) 五島一浩 (JSAS) ヤンユン・チェン (SAS) 司会: レナト・リベラ・ルスカ</p>		
13:00	<p>15:40-16:50 マイクロプレゼンテーション ※プレゼンテーションは英語で行われます。 発表者: ヴェリーナ・グファダー、アンジェラ・ロンゴ、ピーター・チャンタナコーネ、佐藤壮平、ムヤン・ツァン*、ガブリエル・デュリス、レア・ビダコビッチ*、アルバナ・パロリ*、アンドレア・コミスキー*/司会: ガン・シューフィ/審査員: クリス・バラント、ジェイソン・コーディー・ダグラス、ガン・シューフィ *オンライン</p>		
14:00	<p>17:05- マイクロプレゼンテーション贈賞式</p> <p>17:15- 閉会のことば (SAS会長 クリス・バラント)</p>		
15:00			
16:00			
17:00			

19:00～懇親会 (※会費制。会場は横浜駅近くのホテル・ザ・ノットヨコハマになります。)

2日目 (8/20日)

	A会場 (103)	B会場 (102)	C会場 (202)	D会場 (206)	展示(104)	学生作品上映(105)		
9:30	9:30 受付開始						9:30	
10:00	<p>10:00-11:00 キーノートスピーチ 塩田周三 (ポリゴンビジュアルズ代表取締役社長) 「アニメーション会社の経営—ギャップとスペースを活かした経営戦略」</p>				大会テーマ連動企画展示 「ギャップとスペース」 五島一浩「TVアニメの透視 模型(パースペクティブ) in JSAS/SAS大会」	<p>JSAS会員推薦プログラム ①京都芸術大学大学院 (推薦者: 今井隆介会員)</p>	10:00	
11:00	<p>※日本語による発表。会場にいる方にはウィスパリングによる英語通訳がきます。</p>					<p>JSAS会員推薦プログラム ②東京芸術大学大学院 (推薦者: 布山タルト会員)</p>	11:00	
12:00	<p>12:00-13:30 ラウンドテーブル 「日本アニメーション学会25周年をむかえて—アニメーション学”25年の総括と展望」 小出正志 (理論研究部会)、野村康治 (心理研究部会)、中垣恒太郎 (海外文献研究部会)、屋間行雄 (教育研究部会)、萩原由加里 (歴史研究部会)、増田弘道 (産業研究部会)、石田美紀 (コンテンツ文化研究部会) 司会: 須川亜紀子</p>					<p>JSAS会員推薦プログラム ③多摩美術大学 (推薦者: 野村辰寿会員)</p>	12:00	
13:00	<p>※ラウンドテーブルは日本語で行われます。</p>					<p>JSAS会員推薦プログラム ④東京造形大学 (推薦者: 木船徳光会員・和田敏克会員・若見ありさ会員)</p>	13:00	
14:00						<p>JSAS会員推薦プログラム ④シンガポール芸術大学 (推薦者: ガン・ショーフィ会員) ※上映+学生によるプレゼンテーション</p>	14:00	
15:00	<p>研究発表 14:30-18:00</p>	<p><個人研究発表> ①「プロとアマの表現としてスポーツ系アニメにおけるプレーの主体」アルト・ヨアヒム ②「スポーツアニメにおける「仲間」関係の前置化に関する一考察」武井陽太郎 ③「日本テレビアニメシリーズにおける擬人的動物キャラクターの歴史的調査—1960年~1990年の制作・放送状況」梶思帆 ④「アニメーションとシュルレアリスムの再考—東欧系作家をめぐるA・マルタンの批評を中心に」新井佑季 ⑤「『桃太郎 海の神兵』(瀬尾光世、1945年)の構成の推定」たつざわさとし <パネル発表> ⑥「持永只仁の残された一次資料からのメッセージ」角和博、首藤舞央梨、中村隆敏</p>	<p><個人研究発表> ①「二つの「接触」——「カセットJUNE」がもたらした官能をめぐる更なる検討」程斯 ②「声優学—日本のアニメ産業を担う声優技術の曖昧、感覚ではない指導に向けて」長塚全 ③「アニメ制作ワークショップ—その学習方法としての整理の試み」有吉未充 ④「映像における視点・視線・画面の多様性を考えるための演習—5年間の全方位アニメーション制作演習をふりかえって—」牧奈歩美 ⑤「アニメ原画修正の負荷軽減のためのGLCICに基づくキャラクター画風変換に関する検討」築山拓人 <パネル発表> ⑥「アニメーション表現の一般教育はどうあるべきか?—ツール開発の視点から」布山タルト、萩原健一、村上寛光</p>	<p><個人研究発表> ①戦後マンガ・アニメの方法論としての傷つく身体——「サイボーグ009」から「魔法少女まどか☆マギカ」へ」足立加勇 ②「目の表象/パフォーマンスから読み解くディストピア性——「PSYCHOPASS」(2012-)の分析を中心に」濱田輝 ③「ウォルト・ディズニーのspace——余白ではなく宇宙の開拓者」今泉友介 ④「租界都市上海と『鉄扇公主』:『鉄扇公主』の解釈に対する再考」張影 ⑤「『怪物学抄』と『こどもの形而上学』における遊びと断片性」有持旭 ⑥「アニメーターに求められる演技力——動く絵本とアニメーション」森友令子</p>	<p><オンライン発表> ①「高畑勲の「教育」映画論——プレヒトの影響をめぐって」劉雅欣 ②「アニメーション情景論——情景を映し出すモノログ・シーンの考察」中島望 ③「バーチャルリアリティを活用したアニメーション授業モデルの探索」趙璿 ④「From Grayscale to Colour: the Representation of Shadows in Silly Symphonies」Megumi Hayakawa <会場での発表> ⑤「Practice and Prototype of Animation for Advanced Improvisation」Shizuka Miyazaki ⑥「Star Gentle Uterus: Queering of Mahou Shoujo Anime Transformation Sequences」Gabrielle Dulys ⑦「Gaps between action and emotion in Shounen anime battles」Julieta de Icaza Lizaola ※④~⑦: 英語による発表</p>	<p>JSAS会員推薦プログラム ⑤文化学園大学 (推薦者: 荒井知恵会員)</p>	<p>学生作品上映プログラム 「ICAFセレクションプログラム」</p>	15:00
16:00							16:00	
17:00							17:00	
18:00	18:00-閉会式						18:00	

個人研究発表、パネル発表

8/20(日) 14:30~18:00

時間割	A会場 103教室	B会場 102教室	C会場 202教室	D会場（オンライン発表、英語発表） 206教室
14:30~15:00	プロとアマの表現としてスポーツ系アニメにおけるプレーの主体 アルト・ヨアヒム [国立歴史民俗博物館]	二つの「接触」——「カセット JUNE」 がもたらした官能をめぐる更なる検討 程斯 [東京大学大学院]	戦後マンガ・アニメの方法論としての傷 つく身体——『サイボーグ009』から 『魔法少女まどか☆マギカ』へ 足立加勇 [立教大学]	<オンライン>高畑勲の「教育」映画論 ——ブレヒトの影響をめぐる 劉雅欣 [大阪大学大学院]
15:00~15:30	スポーツアニメにおける「仲間」関係の 前景化に関する一考察 武井陽太郎 [一橋大学大学院]	声優学~日本のアニメ産業を担う声優技 術の曖昧、感覚ではない指導に向けて 長塚全 [一般]	目の表象/パフォーマンスから読み解く ディストピア性——『PSYCHO-PASS』 (2012-) の分析を中心に 濱田輝 [横浜国立大学大学院]	<オンライン>アニメーション情景論— 情景を映し出すモノログ・シーンの 考察 中島望 [学習院大学大学院]
15:30~16:00	日本テレビアニメシリーズにおける擬人 的動物キャラクターの歴史的調査—— 1960年~1990年の制作・放送状況 楊思帆 [新潟大学大学院]	アニメ制作ワークショップ—その学習方 法としての整理の試み 有吉末充 [一般]	ウォルト・ディズニーの space——余白 ではなく宇宙の開拓者 今泉友介 [一般]	<オンライン>バーチャルリアリティを 活用したアニメーション授業モデルの探 索 趙瑞 [九州産業大学]
16:00~16:30	アニメーションとシュルレアリスムの再 考——東欧系作家をめぐるA・マルタン の批評を中心に 新井佑季 [立命館大学大学院]	映像における視点・視線・画角の多様性 を考えるための演習~5年間の全方位ア ニメーション制作演習をふりかえって~ 牧奈歩美 [東京藝術大学大学院]	租界都市上海と『鉄扇公主』：『鉄扇公 主』の解釈に対する再考 張影 [女子美術大学]	<Online/English> From Grayscale to Colour: the Representation of Shadows in Silly Symphonies Megumi Hayakawa [University of Zurich]
16:30~17:00	『桃太郎 海の神兵』（瀬尾光世、1945 年）の構成の推定 たつざわさとし [一般]	アニメ原画修正の負荷軽減のための GLCICに基づくキャラクタ画風変換に関 する検討 築山拓人 [大阪工業大学大学院]	『怪物学抄』と『こどもの形而上学』に おける遊びと断片性 有持旭 [愛知県立芸術大学]	<English> Practice and Prototype of Animation for Advanced Improvisation Shizuka Miyazaki [Hijiyama Junior College]
17:00~17:30	<パネル発表>持永只仁の残された一次 資料からのメッセージ 角和博 [佐賀大学]	<パネル発表>アニメーション表現の一 般教育はどうあるべきか？—ツール開発 の視点から 布山タルト [東京藝術大学大学院]	アニメーターに求められる演技力——動 く絵本とアニメーション 森友令子 [大阪芸術大学]	<English> Star Gentle Uterus: Queering of Mahou Shoujo Anime Transformation Sequences Gabrielle Dulys [Yokohama National University]
17:30~18:00	首藤舞央梨 [一般] 中村隆敏 [佐賀大学]	萩原健一 [秋田公立美術大学] 村上寛光 [神奈川工科大学]		<English> Gaps between action and emotion in Shounen anime battles Julieta de Icaza Lizaola [Kyoto Seika University]